


資料C-② 給与所得者の保険料控除申告書の書き方

アの書き方

給与所得者の保険料控除申告書

(フリガナ) あなたの氏名	ヤマカワ タロウ 山川 太郎	記載のしかたはこちら 	保
あなたの住所 又は居所	東京都練馬区栄町23-7		

★あなたの氏名、住所を記入してください。

イの書き方①

保険の ① 名称	保険等の 種 類	保険期間 又は 年金額 支払間 隔	保険等 の 契 約 者 の 氏 名	保険金等の受取人 氏名 あなた の 続 柄	あなたが 本年 中に 支払 った 保険 料 等 の 金 額 (円)	給与 の 支 払 者 の 認 め ら れ た 金 額 (円)
〇〇生命					新・旧 a) 25,000	
××生命					新・旧 a) 80,000	
					新・旧 a)	
					新・旧 a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額 A 25,000 円					(a)の金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額 ① (最高40,000円) 22,500 円	計(①+②) ③ (最高40,000円) 40,000 円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額 B 80,000 円					(a)の金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額 ② (最高50,000円) 45,000 円	②と③のいずれか大きい金額 ④ 45,000 円

① 保険会社等の名称

保険料控除証明書に記載されている保険会社等の名称を記入してください。

② 新・旧の区分

保険料控除証明書に記載されている適用制度に該当する方に丸を付けてください。

③ 本年中に支払った保険料等の金額

保険料控除証明書に記載の本年中に支払った**保険料の申告額**を記入してください。

④ 合計額

上の段(A)には**新**保険料の合計額、**下の段(B)**には**旧**保険料の合計額を記入してください。

令和〇年 生命保険料控除証明書			
以下のご契約につきまして、本年における 8月までの保険料お払込額を証明します。			
団体名	ご契約者(ご加入者) 山川 太郎 様		証券番号 999-999999
年金受取人	***		
保険種類	保険期間	年金支払期間	年金支払開始日
重症化予防保険	終身	***	***
契約日(更新日)	保険料払込期間	払込方法	
平成29年 月 1日	終身	年払	
証明額			
適用制度	新生命保険料控除制度		
※注 平成22年度税制改正において生命保険料控除に関する改正が実施されました。本契約が新・旧どちらの制度が適用されるかを表示しております。			
年金	個人年金保険料	うち一時払保険料等(注1)	個人年金証明額
	0 円	0 円	0 円
一般	一般生命保険料	うち一時払保険料等(注1)	一般証明額
	0 円	0 円	0 円
介護医療	介護医療保険料	うち一時払保険料等(注1)	介護医療証明額
	25,000 円	0 円	25,000 円
【ご参考】保険料年間お払込予定のご案内			
年金	年間個人年金保険料	うち一時払保険料等(注1)	個人年金申告額
	0 円	0 円	0 円
一般	年間一般生命保険料	うち一時払保険料等(注1)	一般申告額
	0 円	0 円	0 円
介護医療	年間介護医療保険料	うち一時払保険料等(注1)	介護医療申告額
	25,000 円	0 円	25,000 円
(注1) 一時払保険料および一部一時払保険料は、生命保険料控除の対象となります。			
【ご注意】本年中にご契約が更新され本年分保険料が旧制度および新制度での適用となる場合は、旧制度および新旧両制度での申告をご選択できます。			
証明日	令和〇年 月 日	1	〇〇生命保険株式会社

イの書き方②

一般の生命保険料控除	保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認
					氏名	あなたとの続柄			
	〇〇生命						新・旧	(a) 25,000 円	
	××生命						新・旧	(a) 80,000 円	
							新・旧	(a)	
							新・旧	(a)	
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A 25,000 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等用)に当てはめて計算した金額		①	22,500 円	計(①+②)	③ 40,000 円
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B 80,000 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等用)に当てはめて計算した金額		②	45,000 円	②と③のいずれか大きい金額	④ 45,000 円

⑤ 控除額の計算Ⅰ

- ①…④Aの額を、下記の計算式①の表に当てはめて計算してください。
 ②…④Bの額を、下記の計算式②の表に当てはめて計算してください。

計算式①	
A or Cの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A or Cの金額そのまま
20,001円～40,000円まで	$A \text{ or } C \times 1/2 + 10,000$ 円
40,001円～80,000円まで	$A \text{ or } C \times 1/4 + 20,000$ 円
80,001円以上	一律40,000円

計算式②	
Bの金額	控除額の計算式
25,000円以下	Bの金額そのまま
25,001円～50,000円まで	$B \times 1/2 + 12,500$ 円
50,001円～100,000円まで	$B \times 1/4 + 25,000$ 円
100,001円以上	一律50,000円

⑥ 控除額の計算Ⅱ

- ③…⑤の①+②の額を記入してください(40,000円を超える場合は、40,000と記入)。
 ④…⑤の②で計算した金額と、⑥の③で計算した金額を比較して、大きい方の金額を記入してください。

ウの書き方

命	〇〇生命						(a) 80,000 円	
企							(a)	
業							(a)	
保							(a)	
料							(a)	
控	(a)の金額の合計額		C 80,000 円	Cの金額を下の計算式(料等用)に当てはめて計算した金額		④	40,000 円	

① 保険会社等の名称

保険料控除証明書に記載されている保険会社等の名称を記入してください。

② 本年中に支払った保険料等の金額

保険料控除証明書に記載の本年中に支払った**保険料の申告額**を記入してください。

③ 合計額

②の合計額を記入してください。

④ 控除額の計算

④…③Cの額を、①の⑤にある**計算式①**の表に当てはめて計算してください。

工の書き方

除 個人 生命 保険料	〇〇生命	支払増減日	新・旧	90,000
	××生命		新・旧 (a)	30,000
			新・旧 (a)	
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額 D 90,000 円	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額 E 30,000 円	計 (4)	40,000 円
			計 (4) と (5) の大きい金額	40,000 円
計算式 I (新保険料等用) ※		計算式 II (旧保険料等用) ※		生命保険料控除額計 (最大 120,000 円)
A、C又はDの金額	控除額の計算式	B又はEの金額	控除額の計算式	
20,000円以下	A、C又はDの全額	25,000円以下	B又はEの全額	
20,001円から40,000円まで	(A、C又はD) × 1/2 + 10,000円	25,001円から50,000円まで	(B又はE) × 1/2 + 12,500円	
40,001円から80,000円まで	(A、C又はD) × 1/4 + 20,000円	50,001円から100,000円まで	(B又はE) × 1/4 + 25,000円	
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円	

① 保険会社等の名称

保険料控除証明書に記載されている保険会社等の名称を記入してください。

② 新・旧の区分

保険料控除証明書に記載されている適用制度に該当する方に丸を付けてください。

③ 本年中に支払った保険料等の金額

保険料控除証明書に記載の本年中に支払った**保険料の申告額**を記入してください。

④ 合計額

上の段 (D) には新保険料の合計額、下の段 (E) には旧保険料の合計額を記入してください。

⑤ 控除額の計算 I

④...④ Dの額を、下記の**計算式①**の表に当てはめて計算してください。

⑤...④ Eの額を、下記の**計算式②**の表に当てはめて計算してください。

Dの金額	控除額の計算式
20,000円以下	Dの金額そのまま
20,001円～40,000円まで	$D \times 1/2 + 10,000$ 円
40,001円～80,000円まで	$D \times 1/4 + 20,000$ 円
80,001円以上	一律40,000円

Eの金額	控除額の計算式
25,000円以下	Eの金額そのまま
25,001円～50,000円まで	$E \times 1/2 + 12,500$ 円
50,001円～100,000円まで	$E \times 1/4 + 25,000$ 円
100,001円以上	一律50,000円

⑥ 控除額の計算 II

⑥...⑤の④ + ⑤の額 (40,000円を超える場合は、40,000) を記入してください。

⑧...⑤の⑤で計算した金額と、⑥の⑥で計算した金額を比較して、大きい方の金額を記入してください。

⑦ 生命保険料控除額の合計

①の⑥の① + ②の④の② + ③の⑥の⑧の**合計額**を記入してください。
(120,000円を超える場合は、120,000と記入)

オの書き方

1	2	3	4	5	6	7
保険会社等の名称 ××火災	地震 旧長期	42,000	42,000	42,000	14,800	50,000
地震保険 △△火災	地震 旧長期	14,800	14,800	12,400		
④のうち地震保険料の金額の合計額			④ 42,000			
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額			④ 14,800			
⑤の金額 (最高50,000円)			⑤ 42,000			
⑥の金額 (⑥の金額が10,000円を超える場合は、⑥×1/2+5,000円)			⑥ 12,400			
⑦の金額 (最高50,000円)			⑦ 50,000			

◎この申告書に当たっては、裏面の説明をお読みください。

① 保険会社等の名称

保険料控除証明書に記載されている保険会社等の名称を記入してください。

② 地震保険料又は旧長期損害保険料の区分

保険料控除証明書に記載されている適用制度に該当する方に丸を付けてください。

③ 本年中に支払った保険料等の金額

③…保険料控除証明書に記載の**控除対象保険料の額**を記入してください。

④ 合計額

④…③の④のうち、②で**地震**に丸を付けた**控除対象保険料の合計額**を記入してください。

④…③の④のうち、②で**旧長期**に丸を付けた**控除対象保険料の合計額**を記入してください。

⑤ 地震保険料控除額

⑤…④の⑤の金額をそのまま記入してください。

⑥ 控除額旧長期損害保険料の金額

⑥…④の⑥の金額が、1~10,000までの場合は**そのまの金額**を、
⑥の金額が10,000を超える場合は、④の⑥×1/2+5,000の**金額**（15,000円を超える場合は、15,000）を記入してください。

⑦ 控除額の合計

⑦…⑤+⑥の金額（50,000を超える場合は、50,000）を記入してください。

地震保険料控除証明書 令和〇年分

本「地震保険料控除証明書」は、課税所得の確定申告または給与所得者の年末調整の際に地震保険料控除をお受けになるためにご使用いただくものです。
なお、本証明書をご使用の際は、必ず左記をご確認ください。

保険契約者 山川 太郎 様

証券番号	
保険種類	地震保険
払込方法	一時払
保険始期	平成30年 6月23日
保険期間	5年間
保険の対象と地震保険金額	建物 2,690万円 家財 1,000万円
保険の対象の所在地	東京都練馬区栄町23-7
地震保険料	25,000円
控除対象保険料	25,000円

上記保険料は地震保険料控除の対象であることを証明します。
証明書作成日 令和〇年△月×日
※この証明書は、年末調整・確定申告の際に必要なもので、大切に保管してください。

カ の書き方

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担している人		あなたが本年中に支払った保険料の金額
		氏名	あなたとの続柄	
合計（控除額）				

お読みください。

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計（控除額）	

① 社会保険料控除

国民年金保険料など、**あなたが直接支払った社会保険料があれば記入**してください。
給与から差し引かれた社会保険料は**記入しないでください**。

② 小規模企業共済等掛金控除

iDeco（個人型確定拠出年金）の掛金など、
あなたが直接支払った小規模企業共済等掛金があれば記入してください。
給与から差し引かれた掛金は**記入しないでください**。

その他

記載例がない部分の記入の仕方や、不明点がある場合は、
国税庁のサイトにてご確認いただきますようお願いいたします。